

令和8年度

2回シリーズ第1回目

兵庫県介護支援専門員協会明石支部・
明石市介護サービス事業者連絡会居宅部会 共催研修

『ケアマネジャーの実践力を高める自己覚知 ～支援の質は、自分を知ることから始まる～』

利用者さんの思いを大切にしているつもりでも、「なぜかうまいかない」「モヤモヤが残る」と感じた経験はありませんか？その背景には、私たち自身の価値観や経験、思い込みが影響していることがあります。

自己覚知とは、「自分自身を知ること」。自分の考え方や感情、支援の傾向に気づくことは、利用者理解を深め、よりよい支援へとつながります。明日からの面接やアセスメントが少し変わるヒントを、一緒に学んでみませんか。

日時

2026年

9月11日 金 14:00-16:30

会場

明石市医師会館3階多目的ホール
(明石市大久保町八木743-33)

参加費

兵庫県介護支援専門員明石支部会員：無料

明石市介護サービス事業者連絡会居宅部会会員：無料

兵庫県介護支援専門員協会会員：1000円

非会員：5000円 ＊研修当日にお支払いください

＊受講証明書を発行します。Google formでのお申し込みの際に必要な事項をご記載ください。

申し込みはコチラから



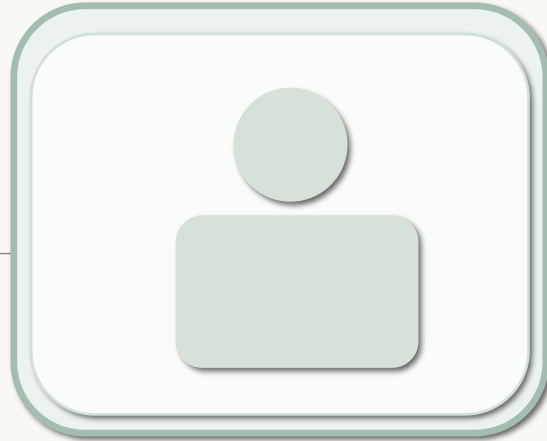
主催：兵庫県介護支援専門員協会 明石支部
共催：明石市介護サービス事業者連絡会 居宅部会
お問い合わせ：

【居宅部会】ちえの和ケアプランセンター明石事業所（岡） ☎078-945-5595

【明石支部】きぬがわ在宅介護支援センター（長尾） ☎078-926-5028

「利用者さんを見る」その前に、まず自分を見てみる。

「ちゃんと利用者さんを見ている」つもりなのに、なぜかうまくいかない。
そんなとき、見直したいのは“利用者さん”だけではなく、“自分自身”かもしれません。



自己覚知

01

気づく

私は、何を大切にしている？

02

振り返る

なぜ、この人の言葉が気になる？

03

変わる

自分を知ると、支援の選択肢が広がる。

講師 木村和弘 氏

社会福祉士 | 介護支援専門員 | 社会リハビリテーション学修士

介護老人保健施設の支援相談員として18年間勤務。認知症ケアやレスパイト、ターミナルケアなど、利用者や家族の「心が大きく揺れる場面」での家族支援に多数携わる。感情の葛藤が絶えない現場だからこそ支援者自身の「自己覚知」の重要性を痛感。

その後、児童福祉分野を経て、現在は大学・専門学校にて社会福祉士・保育士・看護師等の養成や、地域の多職種連携促進活動に従事。演劇を通じ市民に医療・介護サービスを分かりやすく伝える活動を行っている（脚本を執筆）。

こだわりは、相談援助面接、アセスメント、ネットワーク構築、自己覚知。これら専門技術について「具体的にどう考え、どう行動すべきか」という「実践知」の伝達にこだわる。特技は独自の「占い自己覚知」。

研究テーマは「多職種連携」。複雑化する保健医療福祉の課題解決のために、ソーシャルワーク 活用を追求している。

全2回で、
ケアマネジメントを深める。

第1回 自己覚知

「自分を知る」



第2回 アセスメント

「相手を理解する」



よりよい
支援へ

※第2回「アセスメント」は、11月13日（金）！

